

沿革

- 明治16年3月 時の善光寺副住職奥田貫照国師の提唱によって、大勸進養育院と名付け、慈善事業施設として大勸進境内に創設された。養育の「養」は養老、「育」は育児の意を表したものであり、宗教界のものとしては我が国草創のものである。
- 昭和3年 養老部と育児部を分離し、養老部を境内に残し養育部を西長野地籍へ移転独立三帰寮と命名する。「三帰」とは仏法僧に帰依するという仏教用語である。お釈迦様の子どもとして良い子に育つように、長じては社会のお役に立つ人となりますようにとの意が込められている。
- 昭和8年 創立50周年記念式を挙げる。
- 昭和2年 育児部三帰寮は、終戦後の社会情勢により、入所児童が急増したので、これに即するため、敷地西側へ児童棟2棟を増築した。
- 昭和23年 児童福祉法による、児童養護施設として認可され、児童定員50名となる。
- 昭和27年 財団法人から社会福祉法人に改め、養老部を尚和寮と命名する。
- 昭和47年 尚和寮を長野市事業協会へ移管した。
- 昭和51年 三帰寮を現在地の屋島地区へ移転、寮舎を全面改築。
- 昭和52年 創設者奥田貫照国師の胸像を三帰寮内へ建立して永くその遺徳を偲ぶ事にした。
- 昭和58年 創立100周年記念式を挙げる。
- 平成18年 小規模グループケア棟「すだち」竣工式を挙げる。
- 平成25年 創立130周年記念式を挙げる。
- 平成28年 寮舎、ユニット型連棟形式へ全面改築。
定員35名へ変更。5月26日落成式を挙げる
- 令和2年 1月1日 児童発達支援・放課後等デイサービス さんきつずやしまを敷地内に開設した。